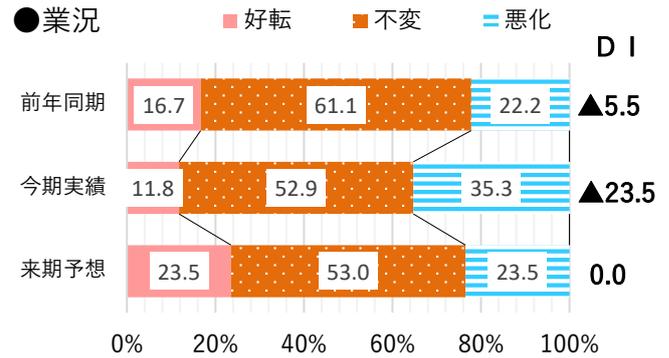


# 運輸・倉庫業

## 業況、売上、採算

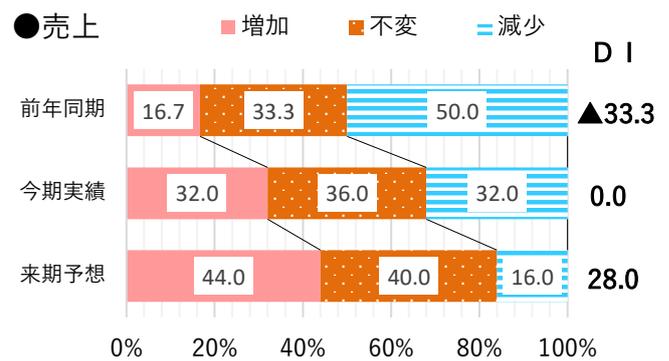
今期（2022.4～6）の業況判断DIは▲23.5で、前年同期（2021.4～6）と比べ18.0ポイント低下しました。

来期（2022.7～9）は、業況の悪化傾向が弱まると予想しています。



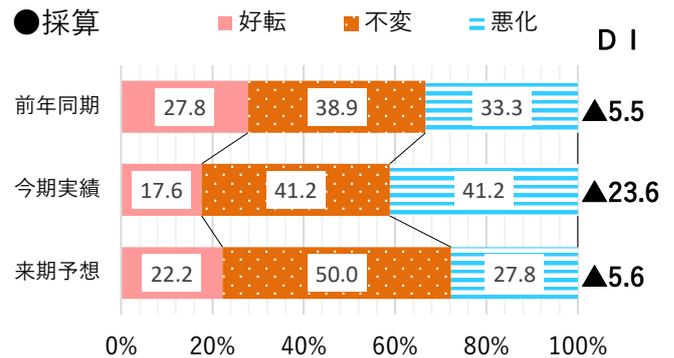
今期の売上高DIは0.0で、前年同期と比べ33.3ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、売上がプラスに転じると予想しています。

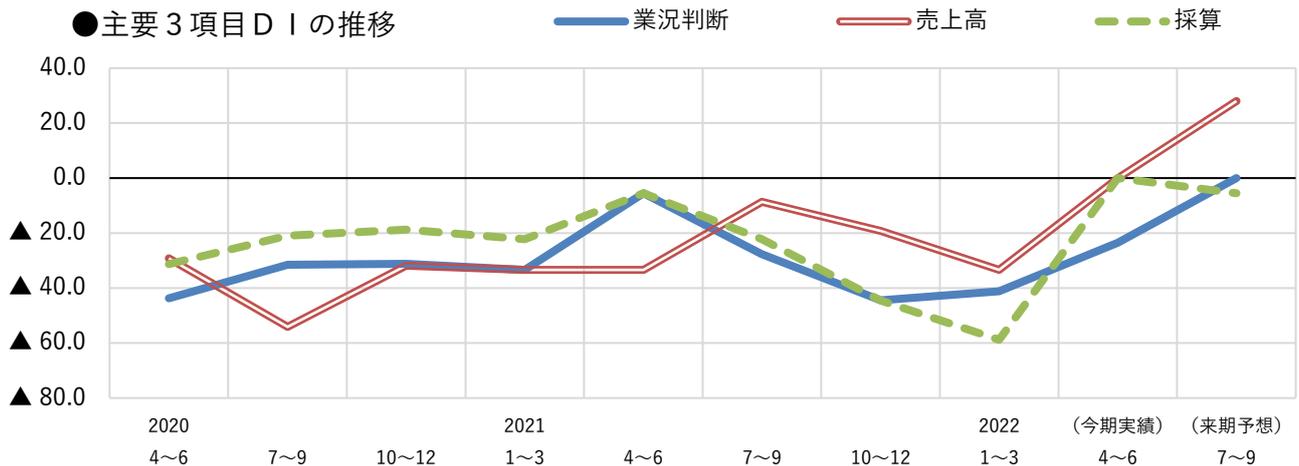


今期の採算DIは▲23.6で、前年同期と比べ18.1ポイント低下しました。

来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



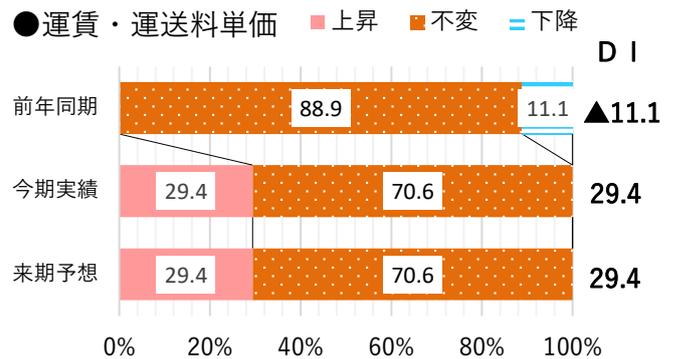
### ●主要3項目DIの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

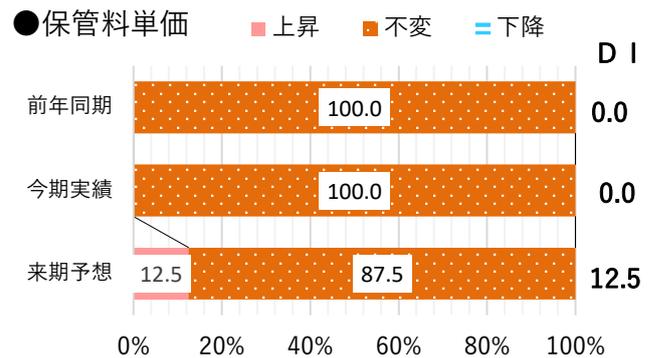
今期の運賃・運送料単価DIは29.4で、前年同期と比べ40.5ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、運賃・運送料単価の横ばいを予想しています。



今期の保管料単価DIは0.0で、前年同期と比べ横ばいでした。

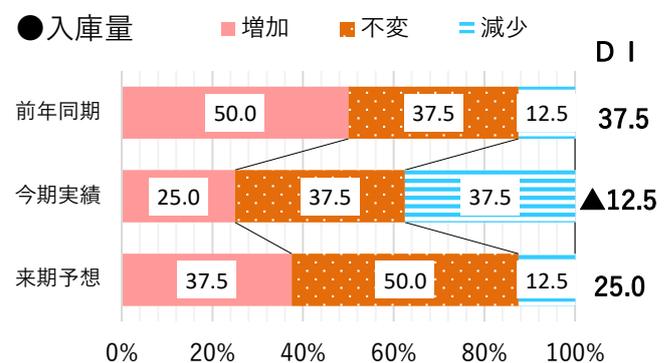
来期は、保管料単価がプラスに転じると予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

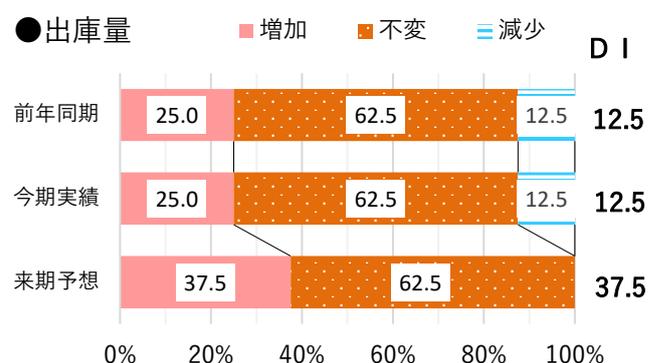
今期の入庫量DIは▲12.5で、前年同期と比べ50.0ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

来期は、入庫量が大幅に増加し、プラスに転じると予想しています。



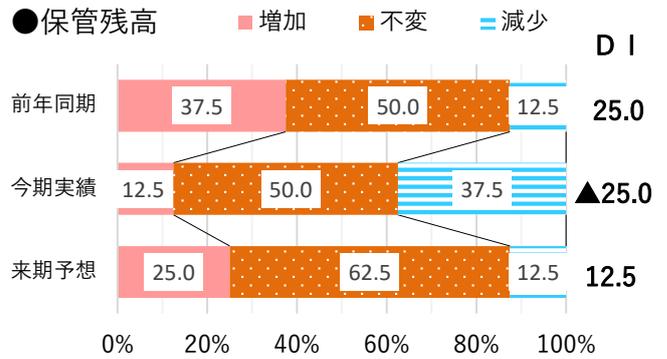
今期の出庫量DIは▲12.5で、前年同期と比べ横ばいとなりました。

来期は、出庫量の増加傾向が強まると予想しています。



今期の保管残高DIは▲25.0で、前年同期と比べ50.0ポイントと大幅に低下し、マイナスに転じました。

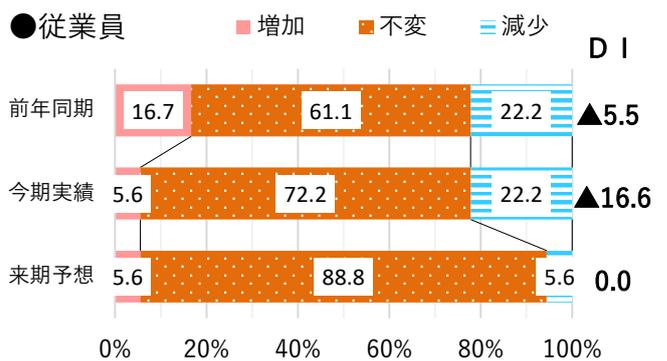
来期は、保管残高が大幅に増加し、プラスに転じると予想しています。



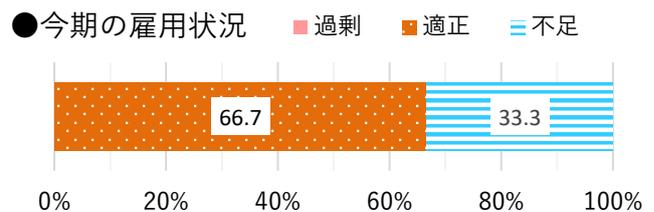
### 従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲16.6で、前年同期と比べ11.1ポイント低下しました。

来期は、従業員の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は66.7%、不足していると回答した企業の割合は33.3%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、運輸・倉庫業全体の50.0%を占めています。

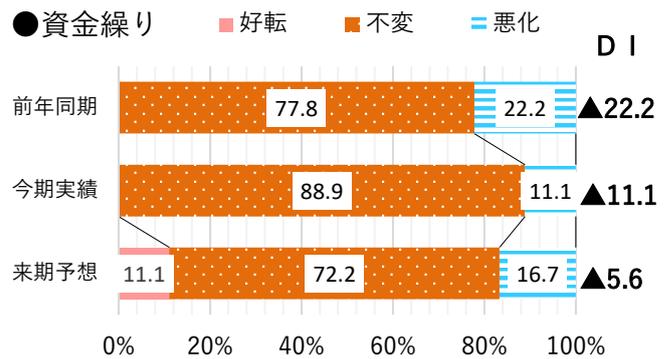
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	1
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	9
	不足	4
減少した	過剰	0
	適正	2
	不足	2

資金繰り、設備投資

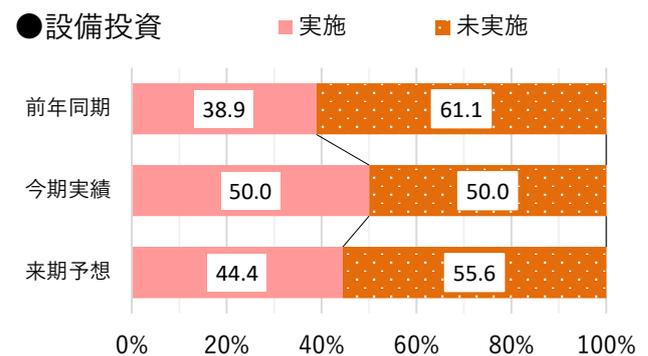
今期の資金繰りDIは▲11.1で、前年同期と比べ11.1ポイント上昇しました。

来期は、資金繰りに大きな変化はないと予想しています。



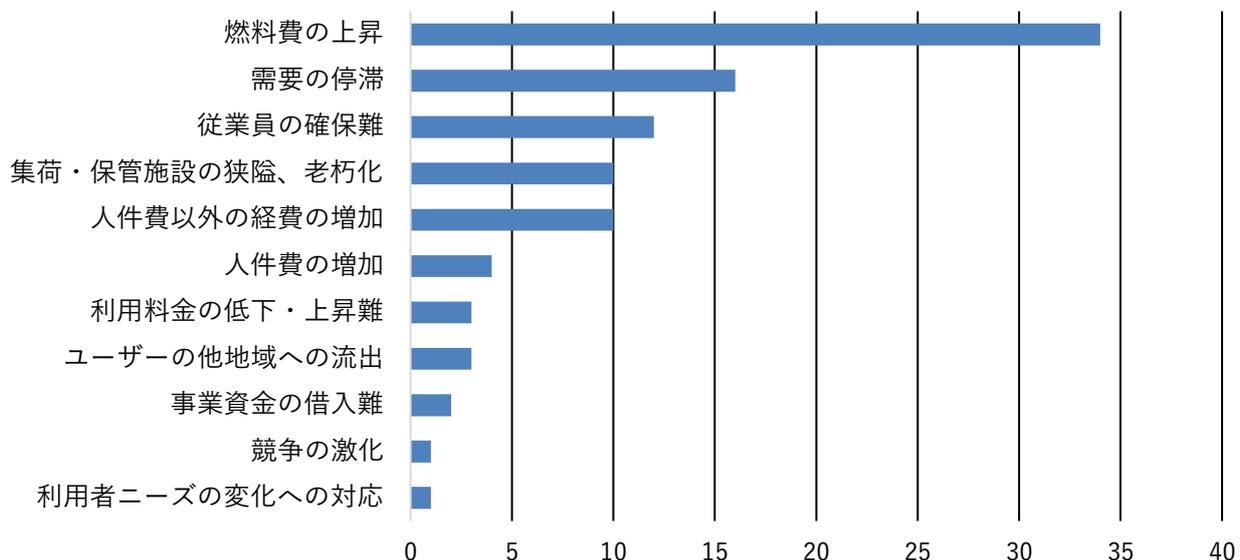
設備投資を実施した企業の割合は50.0%で、前年同期と比べ11.1ポイント上昇しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「建物」、「O A 機器」、「その他」（同位）の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は44.4%で、増加を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「燃料費の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「従業員の確保難」の順です。



## 企業の声

## [今期の業況について]

- 貨物運送、倉庫ともに売上は前年と変わらなかった。人材が不足している。(道路貨物運送)
- 燃料費が高騰している。運賃を値上げしたいが、荷主の同意を得られない。(道路貨物運送)
- 燃料費と人件費の増加により、業況は悪化した。(道路貨物運送)
- 燃料価格は落ち着いてきた。(道路貨物運送)
- 新型コロナウイルス関係の規制は緩和されたが、売上等はコロナ過前の水準まで回復できていない。燃料費の高騰も負担だ。(道路旅客運送)
- 運賃を引き上げたが、燃料費と資材価格の高騰で業況は好転しなかった。(道路旅客運送)
- 入庫量の減少に伴い、売上も減少した。(倉庫)
- 上海のロックダウンによる輸入貨物の減少や、ロシア関連貨物の先行きが不透明な状況、燃料等の値上げの影響で荷動きが全般的に良くない。(港湾運送)
- 3年ぶりにコロナ規制のないゴールデンウィークだったため、コロナ禍前の水準までは戻らないまでも、旅客は増加した。船体の定期検査が長引いたことで運行便数が減少し、貨物は減少となった。また、燃料費が高騰しており、採算が悪化した。(水運)

## [来期の業況について]

- 荷主に対する運送料の値上げ交渉により、売上の増加を見込む。(道路貨物運送)
- 燃料費等の高騰は続くが、観光客が増加し、イベントが開催されれば多少好転する。(道路旅客運送)
- 昨年同期比で30%程売上の増加を見込むが、採算は厳しいと思う。(道路旅客運送)
- 売上は徐々に回復に向かうと思われる。(道路旅客運送)
- さらなる入庫量の減少が懸念される。(倉庫)
- 運行計画、航海数は減少を見込むが、新型コロナウイルス陽性患者数が減少し、規制がなければ旅客は増加する。ロシアによるウクライナ侵攻と円安の影響で、燃料費の高騰が懸念される。農畜産物の収穫繁忙期を迎えるので、輸送量の増加に期待している。(水運)